

岐阜市自然・環境活動ニュース

2012年3月号

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとする誇るべき自然環境が多くあります。その一方で、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備などにより貴重な自然環境が減少している事実があります。そのような現状の中、今一度岐阜市の自然環境を見つめ直し、私たちの財産として、自らの手で素晴らしい自然環境を次代へ引き継ぎましょう。岐阜市の自然や環境活動の情報を「岐阜市自然・環境活動ニュース」としてお伝えします。



※表題番号を地図で表示しています

①「三輪中学校の里山学習」が開催されました

1月17(火)18日(水)の2日間 岐阜市ファミリーパークでは、三輪中学校1年生の里山学習が行われました。三輪中学校の里山学習は、平成17年度から始まりました。先輩達からの伝統を受け継ぎ、今年度も、岐阜市少年自然の家でも宿泊学習での開催です。

17日の夜は森と水辺の技術研究会の野村さんの里山の講義があり、「三輪は岐阜市の中でも素晴らしい自然が残されていること、自然の資源を活用した暮らしその環境を維持してきたこと、今後も維持するために里山を利用し整備することが大切である」ことを教えてもらいました。

18日は午前、午後に分かれて、里山整備です。先輩達の整備した里山林を見学し、明るく光の差し込んだ林をイメージします。作業は、雑木林の間伐を行いました。切り出した間伐材は搬出して、薪として利用します。



三輪中学校では、宿泊学習の野外炊事に使用する薪は、三輪の里山から自分たちで調達します。今回の宿

泊学習の野外炊事で使用した薪は今年の1年生が作った薪です。



〈雑木林の間伐作業〉

生徒さんの頑張りで、今年も薪の確保ができました。この後、学校で乾燥させて、薪割りをします。



②「チェーンソー安全研修(大洞)」開催報告

2月12日(日)に、大洞の里山林で、「チェーンソー安全研修」が行われました。チェーンソーは里山整備に必要な機材ですが、使用方法や利用技術を学ばないと大変危険です。

今回の安全研修は、岐阜県の豊かな里山復活事業に一環として、芥見東の里山林の整備を行っている「大洞の里山つくろう会」の会員さんをはじめ多くの方々が参加されました。

大洞の里山つくろう会の日頃の活動は、手鋸での作業を基本とされています。しかし、枯れた大木の処理にチェーンソーを使う機会が出てきます。ということで研修を受けることになりました。

講師は、「ながら川ふれあいの森」周辺の森林整備を行っているNPO法人ぎふし森守クラブの神山理事長、伊藤さん、鈴木さんの3名です。

まず、神山理事長から、チェーンソーや刈払い機など里山整備に必要な機材と安全に利用するために必要な知識の講義を受けました。安全の確保が何より大切だと何度も繰り返されていました。



その後、実践です。今回の研修は伐採の技術だけでなく、安全面の研修です。無理のない範囲で、当たり前前の事をきちっと実践することが大切です。自分がケ

ガをしないように、周りに人にケガをさせていように、注意と気配りですね。

研修では、伐採方向の計画やどのように安全に倒せるかの確認や、掛かり木の対処も学びました。



最後にチェーンソーの目立ても教えていただきました。道具の手入れは安全作業の第一歩です。



③「ながら川ふれあいの森ツアー」開催報告

2月22日(水)に、三田洞のながら川ふれあいの森にてNPO法人 ふれあいの森自然学校によるふれあいの森ツアー「目(芽)がテン!冬の森を歩いてみよう」が開催されました。

厳しい寒さに襲われることの多かったこの冬ですが、この日はとても暖かく、春の近づきを感じる一日でした。始めに森の案内人はまっちゃんから挨拶と

3月11日に開催される東北震災チャリティー登山の案内があり、その後、2チームに分かれてツアーに出かけました。

冬の森という何だかさみしいイメージがありました。冬には冬の楽しみ方があることを発見できました。

そんな中から今回は特に冬芽に注目して、案内がされました。



④「市民活動支援事業報告会」

2月18日(土)に柳ヶ瀬あい愛ステーションで、平成23年度岐阜市市民活動支援事業の報告会がありました。今年度は、NPO法人長良川環境レンジャー協会、金華山サポーターズ、大洞の里山つくろう会の皆さんの皆さんの活動が採択され、1年間の活動が行われました。(全体の採択は19団体)

活動報告では、長良川環境レンジャー協会さんから8月1ヶ月間実施された「マナーアップキャンペーン」の報告、金華山サポーターズさんからは、金華山登山道の補修と登山のマナーやルールに関する啓発看板の設置の報告、大洞の里山つくろう会さんからは、里山整備活動や地元小・中学校の環境学習や里山祭りの報告がありました。



⑤「森・川・海ひだみの流域シンポジウム」開催報告

2月26日(日)に大垣市情報工房で「森・川・海ひだみの流域シンポジウム」が、森・川・海ひだみの流域連携協議会と岐阜県との共催で開催されました。

午前中は、県域を越え、森、川、海の活動、上下流の交流などの活動を行っている、5団体から活動の報告、会場の参加者との意見交換が行われました。

続いて第二部では、基調講演として、NPO法人「森は海の恋人」代表の畠山重篤さんから、「森は海の恋人 人の心に木を植える」がお話しをされました。

海での牡蠣養殖にとって、森の養分(フルボ酸)が川から海へ運ばれることが欠かせないなど、森川海のつながりを再認識する講演でした。



休憩をはさみ、「清流の国づくりに向け、今できること」をテーマにパネルディスカッションが行われ、様々な意見が交わされました。



—岐阜市の自然・環境活動に関する問い合わせ—

発行者：岐阜市 自然共生部 自然環境課

TEL：058-265-4141 (内線：6451) FAX：058-267-1374

Email：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」 <http://gifu-nature.net>